

学校・地域連携カリキュラムを生かした 社会に開かれた教育課程の実現

山口県教育庁義務教育課・地域連携教育推進室

■学校・地域連携カリキュラムとは

学習指導要領では、教育課程の編成に関して、次のように示されています。

教育課程の編成に当たっては、学校教育全体や各教科等における指導を通して**育成を目指す資質・能力**を踏まえつつ、**各学校の教育目標を明確にする**とともに、教育課程の編成についての**基本的な方針が家庭や地域とも共有される**よう努めるものとする。その際、第5章**総合的な学習の時間の第2の1**に基づき定められる**目標との関連を図る**ものとする。

この趣旨を踏まえ、本県では「学校・地域連携カリキュラム」を「**社会に開かれた教育課程の視点をもとに、学校と地域が連携・協働する教育活動を体系的に示したカリキュラム**」と定義し、より一層の充実をめざしています。また、以下のような「**グランドデザイン**」と「**9年間の単元配列表**」を効果的に活用することで、各学校の**教育活動の質**を高めること（カリキュラム・マネジメント）が重要だと考えています。

学校・地域連携カリキュラム

①学校の基本方針を示す グランドデザイン

ビジョン

【目的】家庭や地域との理念の共有
【盛り込まれる内容】

- 中学校区や各学校の教育目標
- 育てたい子どもの姿
- 育成をめざす資質・能力
- 学校・地域の課題
- 重点取組事項

②総合的な学習の時間を 核とした9年間の単元配列表

設計図

【目的】学校教育目標と総合的な学習の時間、各教科等との関連の明確化

- 【盛り込まれる内容】
- 児童生徒や学校、地域の実態等に応じた**探究課題**の設定
 - 総合的な学習の時間と各教科等との関連

■学校・地域連携カリキュラムの質をより高めるために

「学校・地域連携カリキュラム」は、学校や地域の実態をもとに、コミュニティ・スクールの仕組みを生かして、随時見直しを図ることが必要です。

①グランドデザインの見直しポイント

☑チェックしてみましょう！

内容面

- 育成をめざす資質・能力、育てたい子どもの姿等を明記し、互いの関連を示している。
- より多くの人がかかるような平易な表現にしている。

運用面

- 校内外の掲示等を用いた見える化を図り、学校、家庭、地域が共有に努めている。
- 学校評価等と関連させるとともに、学校運営協議会等で課題等を話し合い、常に見直す機会を設けている。

②9年間の単元配列表の見直しポイント

☑チェックしてみましょう！

内容面

- 総合的な学習の時間の**探究課題**を明記するとともに、教科等横断的な視点で組み立てている。
- 9年間を見通して、地域資源を活用した教育活動を設定している。

運用面

- 小・中学校がともに見える化に努め、9年間の計画と日々の教育活動との関連を常に確認している。
- 育成をめざす資質・能力等により、教育活動の成果と課題を随時検証している。